

公私連携による両キッズランドの運営にかかる 地域との懇談会記録（加美会場）

平成28年6月2日（木）20:00～21:45

場所：加美プラザ

出席者：13名

事務局：岸原教育長、こども未来課 今中、市位

内容：教育長あいさつ

こども未来課から資料による説明

質疑応答・意見交換

■主な意見と内容

・中区の認定こども園化をして、良くなった点を教えてほしい。また、民営化の目的でお金のことを言われているが、教育・保育の質を高めることなどはないのか。

→保護者にとっては3年幼稚園ができたことが大きい。また、これまでは4歳児までは3園にいて、5歳児になれば中町幼稚園に行って小学校へ行くことが多かったが、5歳児まで同じ園に在籍することができ、小学校へ行けるようになったことが良かった点であると思う。それと、中区内の3こども園は5歳児の人数が増え、まとまった集団のなかで教育・保育を行えるようになったことも大きい。幼稚園部を設けて、幼稚園教育の質の向上について取り組んでいけることになったことも良かった点である。中区内の3園では幼稚園教育研修事業で、県内の幼保連携型認定こども園や町内の小学校へ研修に行っていることも大きなメリットである。

・教育・保育の質の向上は、具体的にどのようなことをやっていくのか。

→平成28年度と29年度の2か年をかけて町内5歳児教育共通カリキュラムの作成を考えている。両キッズランドと3認定こども園では、それぞれ0歳児から5歳児までのカリキュラムをもっているが、小学校へ接続するための大切な1年間である5歳児の教育カリキュラムについて、多可町オリジナルの共通したものを作成したいと思っている。小学校にもご協力いただき、より良いカリキュラムの作成を計画している。

・嘱託職員の給与は、民間園に比べてどうなのか。安い賃金で正職員と同じ内容の仕事をさせていること自体が問題なのではないか。

→公立の嘱託職員は民間園の正規職員に比べて給与は低い状況である。キッズランドの保育士の正職員率は3割を切っている状況で、嘱託職員にもクラス担任をしてもらっている。民営化になれば、法人にできるだけ正規職員として採用していただくように調整していきたいと考えている。

・民営化になれば、体操や英語教育など特色ある教育方法が可能であるなどのメリットが言われているが、キッズランドできちんと教育・保育がされているので、その点だけをアピールするのはどうなのか。どうも「アメ玉」のような気がする。土地・建物は無償でという計画であるが、営利を目的とした法人に無償というのはどうかと思う。

→法人に受けていただきやすい条件とするために、また譲渡後は維持管理をすべて法人でお願いしたいため、無償で検討している。利益が出た分は、施設改修のための積立て、保育士の賃金アップ、特色ある教育のために使っていきたいと考えている。

・1月に開催の懇談会時と説明内容は同じであるし、何の進歩もない。より多くの意見を聴いて判断すべきである。

→現時点ではこの程度までしか資料を出すことができないし、これまでの協議経過もお伝えした。今後も保護者の皆さんを中心に、より多くのご意見を聴いて調整をさせていただきたいと考えている。

・町内法人で受けてくれるところがなければ、民営化なしとのことであるが、なんとしてでも民営化をやる気はないのか。民営化することによって浮いた経費で、どのようなこと

を計画しているか。

→なんとか町内の法人に受けていただけるように調整していきたいと思う。民営化によって節減できた経費は、子どもたちのために使いたいと考えている。例えば、5歳児の保育料を無償にしていとか、4歳児も含めて検討するとか、子ども・子育て会議で協議していきたいと考えている。

・保護者懇談会用に、Q&A のようなものを作っていたらどうか。

→前向きに検討させていただく。

・民営化が決まったとして、移行は早くて何年になるか。

→平成29年3月に方向性を出し、早く進んだとして平成31年4月に民営化実施ということになる。

・なかなか資料で説明をしても理解してもらいにくいので、たか TV で分かりやすく説明してもらってはどうか。

→検討させていただく。

・キッズランドの保護者との懇談会をさらに計画されているようだが、お母さんたちが参加しやすいように託児を検討してもらってはどうか。

→保護者会、キッズランド所長と調整させていただく。

・保護者にとって公立、民営などはあまり関係ない。要は、教育・保育の質の問題である。しっかりやってもらいたい。

→教育委員会事務局も、教育・保育の質向上は一番大切なことと捉えている。幼小連携も図りながら、進めたいと考えている。

・社会福祉法人であれば、保育所等の経験がなくても受け手になれるか。

→経験や運営のノウハウがないと、すぐに引き受けていただくのは無理であると思うし、保護者の皆さんにも理解してもらえないと思うので、受け手になることは難しいと考える。今後、子ども・子育て会議で協議していくことになる。

・今後、子どもの数が減っていくと思うが、町内5認定こども園でずっと運営できていくのか。

→子どもの人数が減っていても、園の規模が小さくなれば子ども1人当たりの給付単価が上がり、運営には問題ないと考えている。今は両キッズランドとも150～160人規模であるが、保育所や認定こども園の規模としては70人から90人が良いと言われている。よって、将来的にもうまく運営できていくと思う。

・公私連携方式でずっと運営してもらえるのか。

→協定書にきちんとうたい、ずっと公私連携方式で運営していく。

・前日の八千代区でも「地域立はどうか」という意見が出た。ぜひ検討していただきたい。

→子ども・子育て会議で協議させていただきたい。